

## 現代経営学演習（MBA ゼミ）シラバス

担当 鈴木竜太  
suzukir@kobe-u.ac.jp

### 1 目的とテーマ

演習では専門職学位論文の論文指導を行います。組織行動論、経営組織論、経営管理論、人的資源管理論、キャリア論といった組織における人に関わる領域に関するテーマを扱います。組織の中の「人」に焦点をおいたテーマを扱います。ただし人に焦点を当てるものの、常に組織（企業や職場）と個人、組織（企業や職場）の中の個人といった関係の中から検討をします。また専門職学位論文の作成を通じて、具体的な経営現象を科学的に把握、分析、検討するスキルを身につけることも目指します。

学位論文はゼミで言われたことをすれば完成するものではありません。ゼミでのコメントや議論を踏まえて、自分でマネジメントする意識を常にもってください。最終的にはM2の夏（あるいは春）での学位論文の完成が目標ですが、今年度の目標は研究計画を仕上げることになります。

### 2 ゼミの方針

良いリサーチコミュニティ（ゼミ）から良い研究は生まれますし、良い研究を個々人が志さなければ良いリサーチコミュニティ（ゼミ）は成り立ちません。自分の研究だけに關心を持つのではなく、他のメンバーの研究にも強い關心をもってほしいと思います。良いアイデアは必ず活発な議論の場から生まれます。ゼミは共通の關心をもった人々の集団です。ぜひゼミ中、オフライン、オンライン、フォーマル、インフォーマルな場で活発な議論をしましょう。

### 3 スケジュール

内容は進捗などによって柔軟に変更しますが、おおむね以下の通りに進める予定です。合宿の開催などエキストラのゼミもゼミ生と相談しながら行っていく予定です。

#### 第1回 1, 2 (8/20 8:50~12:10)

自己紹介と（現在考えている）研究関心・テーマについて話してもらいます（およそ1人5分程度）。テーマや関心に沿って文献などを紹介する予定です。後半のセッションでは、研究計画の立て方、リサーチプロポーザルの意義と作成について話します。

【課題】自分の学位論文のテーマについて5分程度で話せるようにしてきてください。まだ決まっていない人は候補で結構ですし、いくつか候補があってもかまいません。主に研究動機（なぜそういうテーマに関心をもっているのか）という観点から準備してください。

## 第2回 3, 4, 5 (9/17 13:20~18:30)

組織行動論、経営管理論、キャリア論に関する特定の研究を取り上げ検討します。課題の発表と平行して、その研究分野について学ぶと同時に、研究論文に必要な要素、水準についても検討します。また、学術論文において先行研究を検討する意味やその方法について説明します。

【課題】各人の研究関心に沿ってチーム分けをしたうえで、各チームで与えられた研究分野・論文について10分程度の概説をしてもらいますので準備をしてきてください。

## 第3回 6, 7 (10/15 8:50~12:10)

学位論文を執筆するうえでの方法論（質的研究・量的研究）について学びます。まず経営学研究における方法論の考え方について概説します。その後、経営学研究で用いられるさまざまなデータの特徴と調査・分析方法について概説します。

【課題】方法論に関する文献（検討中）を読む

## 第4回 8, 9, 10 (11/5 13:20~18:30)

リサーチプロポーザルの中間報告を行います。ここまでのゼミでの議論をもとに、リサーチプロポーザル（A4 1枚以内）を作成し、1人10分以内で発表してもらいます。主に研究関心や研究テーマなど自身の研究のドメインに関して議論をしていきます。発表すべき具体的な内容は後日指示します。

## 第5回 11, 12 (12/24 8:50~12:10)

過去のMBA論文について検討します。人に関わるテーマのうち、チームごと興味深いMBA論文を選び、当該論文の概要、良さ、問題点などを発表してもらいます。可能であれば、MBAのOBの方に体験談を話してもらう予定です。

【課題】チームごと、検討したいMBA論文を決め、内容、良さ、問題点、感想、などを10分程度にまとめてきてください。

## 第6回 13, 14, 15 (1/21 13:20~18:30)

研究計画、調査、分析について具体的な研究をもとに解説・演習をします。（インタビューガイドラインの作成の仕方や質問紙の作成の仕方など）実際のデータの取り方とデータの分析の仕方についてゲストを交えて解説・演習します。

【課題】後日指示します。

## 第7回 16, 17, 18, 19, 20 (2/18 8:50~18:30)

リサーチプロポーザルの中間報告を行います。第8回の最終報告に向け、研究計画をブ

ラッシュアップします。人によって進み方に差が出はじめている頃かもしれませんが、研究方法の選択、調査計画を含む研究計画を中心に発表をしてもらいます。

【課題】第6回のゼミ内容を踏まえ、自分の研究テーマ、研究課題に準じた研究計画を立てて来てください。発表すべき具体的な内容は後日指示します。

#### 第8回 21, 22, 23, 24, 25 (3.24 8:50~18:30)

リサーチプロポーザルの最終報告を行います。すでにこの段階で調査に入っている人はその進捗報告も含めて報告をしてもらいます。この段階では、研究テーマが固まっているだけでなく、それに関わる文献の検討、具体的な調査計画についても定まっていることが求められます。

【課題】リサーチプロポーザルの最終報告の準備をしてきてください。1人あたり15分程度の発表で準備をしてください。

#### 4 教科書・参考書

稲葉祐之・井上達彦・鈴木竜太・山下勝 『キャリアで語る経営組織』 有斐閣アルマ 2011年.

開本浩矢編, 『入門 組織行動論』, 中央経済社.

田尾雅夫・若林直樹編 『組織調査ガイドブック』 有斐閣, 2001年.

盛山和夫 『社会調査方法入門』 有斐閣ブックス, 2004年.

※これ以外の書籍・文献などは適宜指示します。